

(様式2)

放射線等に関する教育実践事例

学校番号・学校名	〈小・45〉	いわき市立	江名	小学校
〈実施日〉	平成 27年 9月 1日 (火)			
〈実践教科等〉	※当てはまる番号に○を付けてください。4は()に教科等を入れてください。			
1 理科	② 学級活動	3 総合的な学習の時間	4 その他 ()	
〈実践内容〉	<p>1 原子力発電所の事故や、長崎・広島に落とされた原子爆弾の被害について</p> <ul style="list-style-type: none">○ 福島第一原子力発電所の事故による住民の被害状況や、現在に至る避難状況について知る。○ 読み物資料により、長崎・広島の原子爆弾での被害と放射線の影響について知る。 <p>2 放射線について知ろう</p> <ul style="list-style-type: none">○ 副読本「小学生のための放射線副読本」をもとに<ul style="list-style-type: none">① 放射線って、何だろう？② 放射線を受けると、どうなるの？について調べる。○ 調べたことをもとに、もともと身の回りにある放射線と事故による放射線の違いを比べて、健康への影響について話し合う。<ul style="list-style-type: none">・ 自然にある放射線や病院のレントゲン撮影などで受ける放射線の量で健康的なくらしができなくなる心配はないことを確認する。 <p>3 放射線から身を守るには</p> <ul style="list-style-type: none">○ 除染作業について知る。○ 放射線から身を守るために実行することや心構えを知る。 <p>4 感想記述と発表</p> <ul style="list-style-type: none">・ 放射線は身の回りのいろいろなところにあるということがわかった。・ 放射線は、使い方によっては役に立っていることもあることがわかった。・ 今の生活は、除染作業の苦労があって支えられていることがわかった。・ 放射線量の高いところも早く低くなってほしい。			
〈成果〉	○放射線の性質や、健康への被害について具体的に理解することができてよかった。			
〈課題〉	○原子力発電所の事故から5年が経ち、保護者も意識が低くなっている中での放射線教育をどのように進めていくべきなのか。			
資料作成担当者職(教諭)氏名	(菅野 裕)		学校電話番号(55-7042)	

【資料作成上の注意】

1. 平成27年8月～平成28年7月の実践についてまとめてください。
2. 提出期限の平成28年8月1日(月)までに電子メールで送信してください。

(送信先: kakuta-k@city.iwaki.fukushima.jp)